

## 「循環型社会形成に関する世論調査」の概要

平成 26 年 7 月 24 日  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,880 人 (62.7%)
	調査時期	平成 26 年 6 月 12 日～6 月 22 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取

調査目的 循環型社会形成に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

調査項目	1 レジ袋無料配布禁止についての賛否
	2 レジ袋無料配布禁止賛成の理由
	3 レジ袋無料配布禁止反対の理由
	4 レジ袋のために払ってもよい費用
	5 レジ袋をもらう頻度
	6 ペットボトルのリサイクルについての意識
	7 使い捨ての製品・容器・包装で無駄だと思うこと

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

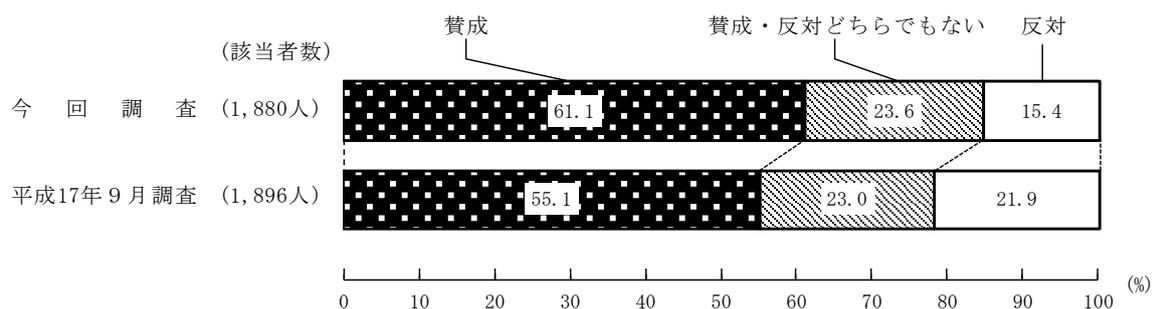
内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

# 1 レジ袋の配布について

## (1) レジ袋無料配布禁止についての賛否

	平成 17 年 9 月	平成 26 年 6 月	
・賛 成	55.1%	→ 61.1%	(増)
・賛成・反対どちらでもない	23.0%	→ 23.6%	
・反 対	21.9%	→ 15.4%	(減)

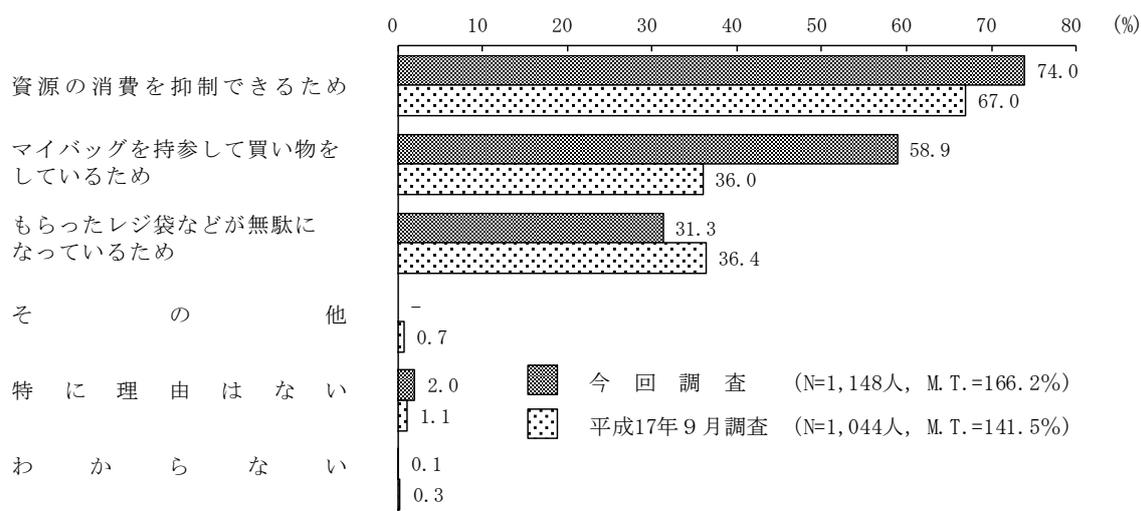


(レジ袋無料配布禁止について「賛成」と答えた者 (1,148 人) に)

(ア) レジ袋無料配布禁止賛成の理由

(複数回答, 上位 2 項目)

	平成 17 年 9 月	平成 26 年 6 月	
・資源の消費を抑制できるため	67.0%	74.0%	(増)
・マイバッグを持参して買い物をしているため	36.0%	58.9%	(増)

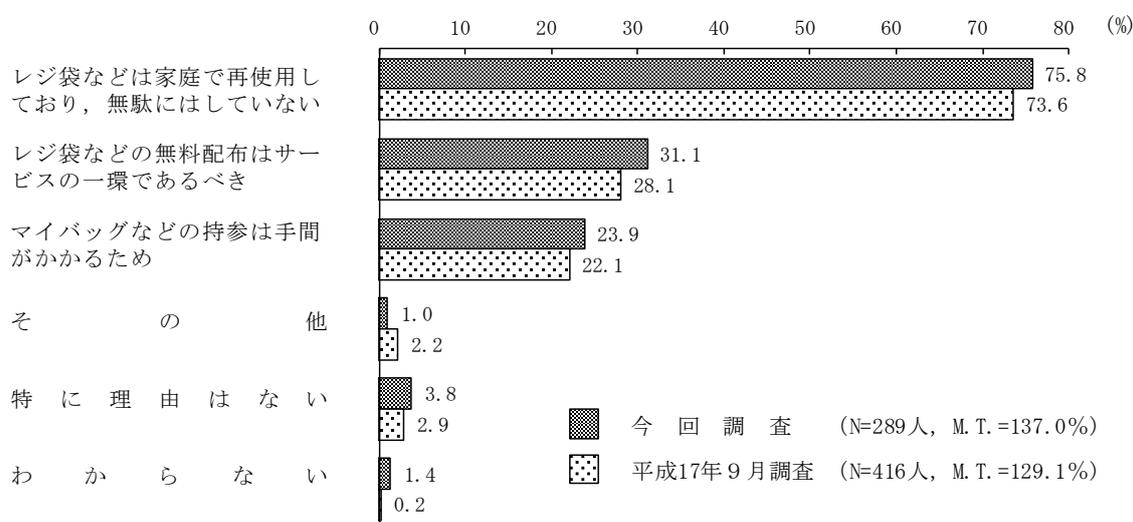


(レジ袋無料配布禁止について「反対」と答えた者(289人)に)

(イ)レジ袋無料配布禁止反対の理由

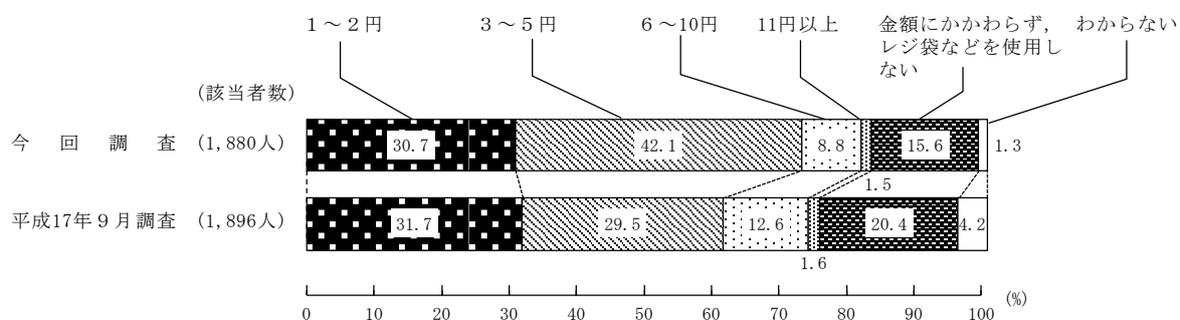
(複数回答, 上位2項目)

	平成17年9月	平成26年6月
・レジ袋などは家庭で再使用しており, 無駄にはしていない	73.6%	75.8%
・レジ袋などの無料配布はサービスの一環であるべき	28.1%	31.1%



(2) レジ袋のために払ってもよい費用

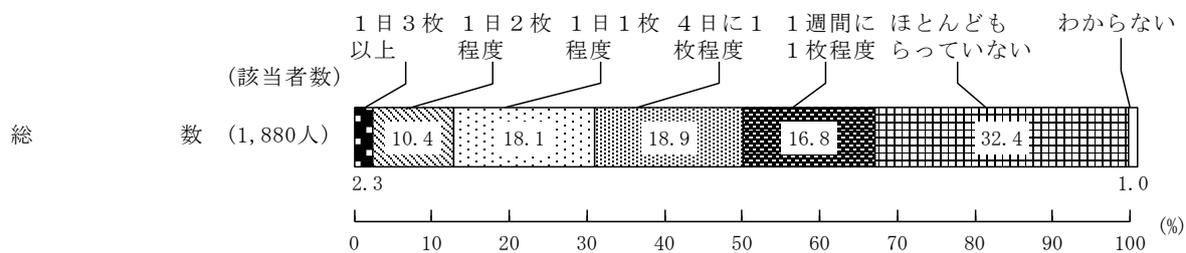
	平成 17 年 9 月	平成 26 年 6 月	
・ 1 ～ 2 円	31.7%	→ 30.7%	
・ 3 ～ 5 円	29.5%	→ 42.1%	(増)
・ 6 ～ 10 円	12.6%	→ 8.8%	(減)
・ 11 円以上	1.6%	→ 1.5%	
・ 金額にかかわらず，レジ袋などを使用しない	20.4%	→ 15.6%	(減)



(3) レジ袋をもらう頻度

平成 26 年 6 月

- ・ 1 日 3 枚以上 2.3%
- ・ 1 日 2 枚程度 10.4%
- ・ 1 日 1 枚程度 18.1%
- ・ 4 日に 1 枚程度 18.9%
- ・ 1 週間に 1 枚程度 16.8%
- ・ ほとんどもらっていない 32.4%

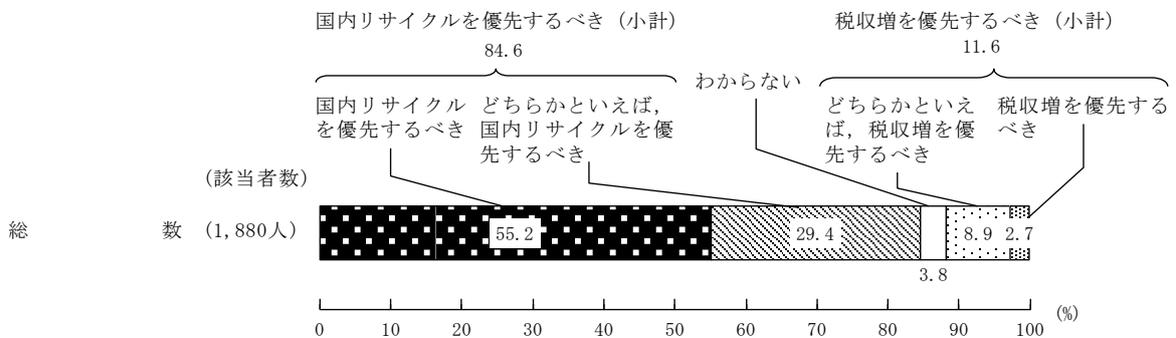


## 2 ペットボトルのリサイクルについて

### (1) ペットボトルのリサイクルについての意識

平成 26 年 6 月

・国内リサイクルを優先すべき（小計）	84.6%
・国内リサイクルを優先すべき	55.2%
・どちらかといえば、国内リサイクルを優先すべき	29.4%
・税収増を優先すべき（小計）	11.6%
・どちらかといえば、税収増を優先すべき	8.9%
・税収増を優先すべき	2.7%



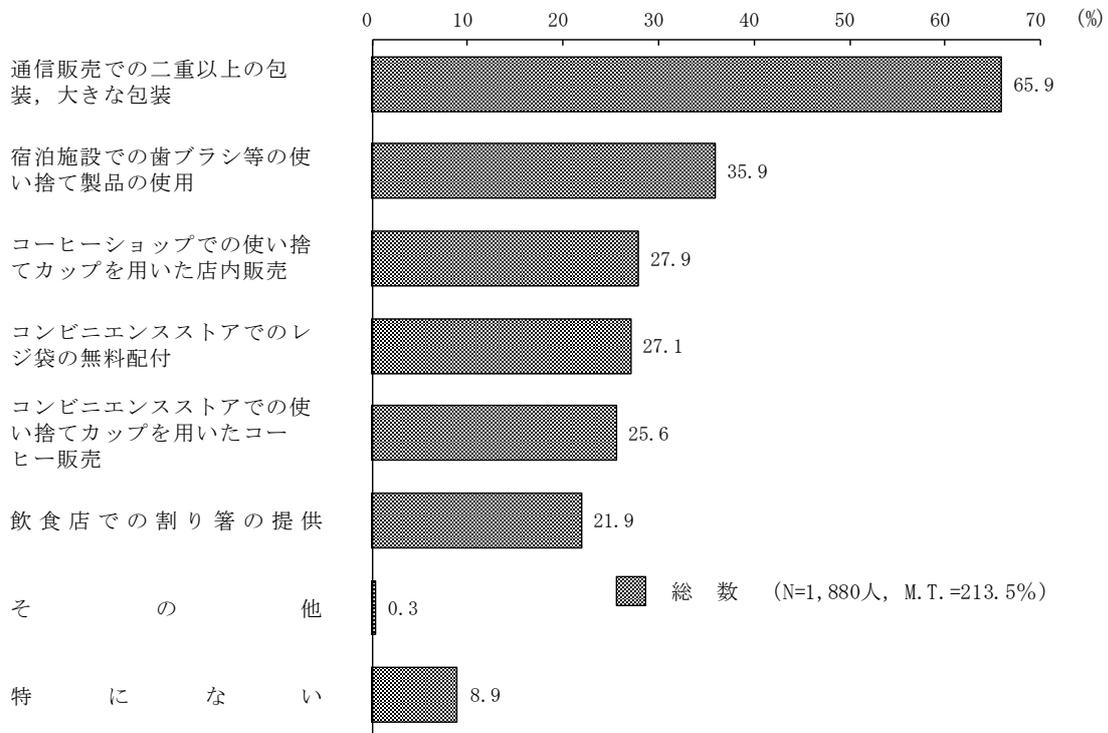
### 3 使い捨ての製品・容器・包装について

#### (1) 使い捨ての製品・容器・包装で無駄だと思うこと

(複数回答, 上位5項目)

平成 26 年 6 月

- ・通信販売での二重以上の包装, 大きな包装 65.9%
- ・宿泊施設での歯ブラシ等の使い捨て製品の使用 35.9%
- ・コーヒーショップでの使い捨てカップを用いた店内販売 27.9%
- ・コンビニエンスストアでのレジ袋の無料配付 27.1%
- ・コンビニエンスストアでの使い捨てカップを用いた  
コーヒー販売 25.6%



## 循環型社会形成に関する世論調査

調査時期：平成26年6月12日から平成26年6月22日  
調査対象：全国20歳以上の日本国籍を有する者3,000人  
有効回収数(率)：1,880人(62.7%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「レジ袋やペットボトルのリサイクル」についてお伺いします。

Q1 【回答票1】 容器包装廃棄物の発生抑制の観点から、レジ袋などの無料配布を禁止する動きがありますが、どう思いますか。この中から1つだけお答えください。

(61.1)	(15.4)	(23.6)
(ア)	(イ)	(ウ)
賛成	反対	賛成・反対どちらでもない
↓	↳ (SQbへ)	↳ (Q2へ)

【Q1で「(ア) 賛成」と答えた者に聞く】

SQa 【回答票2】 その理由をこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,148)

- (74.0) (ア) 資源の消費を抑制できるため
- (58.9) (イ) マイバッグを持参して買い物をしているため
- (31.3) (ウ) もらったレジ袋などが無駄になっているため
- ( - ) その他 ( )
- ( 2.0) (エ) 特に理由はない
- ( 0.1) わからない

(M. T. =166.2)

【Q1で「(イ) 反対」と答えた者に聞く】

SQb 【回答票3】 その理由をこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=289)

- (23.9) (ア) マイバッグなどの持参は手間がかかるため
- (31.1) (イ) レジ袋などの無料配布はサービスの一環であるべき
- (75.8) (ウ) レジ袋などは家庭で再使用しており、無駄にはしていない
- ( 1.0) その他 ( )
- ( 3.8) (エ) 特に理由はない
- ( 1.4) わからない

(M. T. =137.0)

(全員に)

Q 2 【回答票 4】もし、スーパー・コンビニなどにおいて、レジ袋などの配布が有料となった場合、何円程度までであれば、レジ袋などを使用しますか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- (30.7) (ア) 1～2円 ( 1.5) (エ) 11円以上  
(42.1) (イ) 3～5円 (15.6) (オ) 金額にかかわらず、レジ袋などを使用しない  
( 8.8) (ウ) 6～10円 ( 1.3) わからない

Q 3 【回答票 5】レジ袋をだいたいどのくらいの頻度でもらっていますか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- ( 2.3) (ア) 1日3枚以上 (16.8) (オ) 1週間に1枚程度  
(10.4) (イ) 1日2枚程度 (32.4) (カ) ほとんどもらっていない  
(18.1) (ウ) 1日1枚程度 ( 1.0) わからない  
(18.9) (エ) 4日に1枚程度

(【資料 2】を提示して、対象者に読んでもらってから、以下の質問を行う。)

**【資料 2】**

市民から集められたペットボトルは、国内でペットボトルにリサイクルされる技術が開発されています。一方、市町村によってはペットボトルを独自に海外に売却し税収に充てている事例があります。その場合、国内リサイクルよりも高く引き取られる反面、海外ではリサイクルされずに処理される事例が見受けられています。

Q 4 【回答票 6】あなたは、国内でのリサイクルと税収増のどちらを優先させるべきだと考えますか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- (55.2) (ア) 国内リサイクルを優先するべき  
(29.4) (イ) どちらかといえば、国内リサイクルを優先するべき  
( 8.9) (ウ) どちらかといえば、税収増を優先するべき  
( 2.7) (エ) 税収増を優先するべき  
( 3.8) わからない

Q 5 【回答票 7】使い捨ての製品、容器、包装が利用されている場面で、無駄だと思うことはどれですか。この中から**いくつでも**あげてください。(M. A.)

- (25.6) (ア) コンビニエンスストアでの使い捨てカップを用いたコーヒー販売  
(27.9) (イ) コーヒーショップでの使い捨てカップを用いた店内販売  
(27.1) (ウ) コンビニエンスストアでのレジ袋の無料配付  
(35.9) (エ) 宿泊施設での歯ブラシ等の使い捨て製品の使用  
(65.9) (オ) 通信販売での二重以上の包装、大きな包装  
(21.9) (カ) 飲食店での割り箸の提供  
( 0.3) その他 ( )  
( 8.9) 特にない (M. T. =213.5)